



令和2年度 第3号 令和2年6月12日

# 鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに**夢**と**希望**を育む鶴川内中

協 自 自  
調 律 主

一 校 一 風

育てよう**花**と**心**と大きな**夢**を

## 校長室の窓から

学校再開から約1ヶ月、水無月の今

校長 中山 武広

「水無月（みなづき）」は、旧暦6月の異名です。新暦では7月頃にあたり、梅雨明け後、酷暑で水が干上がってしまう時期なので、「水が無い月」と書いて「水無月」と呼ばれるようになったのだそうです。と書きつつ、念のため調べてみたところ、他にも語源説がありました。水無月の「無（な）」を「の」にあたる連体助詞とみなして、「水の月」と解釈する説です。梅雨明けの旧暦6月が田んぼに水を引く時期であることに由来するとしています。「水が無い」と「水がある」、真逆の二つの語源説があるのは興味深いことです。両者が並立して、「水無月」なのでしょう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて、6月も半ば、5月7日の学校再開から1か月以上が過ぎました。朝のボランティア活動、各教科の授業、給食、部活動等々、日々の学校生活も安定してきています。また、学校再開後、朝のランニングも始まり、早朝から学校全体に活気が満ちあふれていて、通常の学校生活が戻ってきたようにも見えます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染防止のために、今なお、咳エチケット・手洗い・うがい・手指消毒・三密回避等は継続中であり、校内では常時、生徒・職員がマスクを装着している状況です。教室の中の全員がマスクを着けている光景を見ると、とても通常の学校生活が戻ってきたとは思えません。

マスク着用は重要な感染防止策の一つですが、夏場の着用については熱中症の原因になることも懸念されており、夏本番を迎え、感染防止と熱中症防止の両方を同時に進めることに困難を感じているところです。両者を並立させるために、県や市の指針を仰ぎ、知恵を絞って、より適切な対応に努めたいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

マスク着用が不要となったときこそが、以前の日常生活の完全復活だと思います。それがいつになるかの見通しは立ちませんが、ワクチンや治療薬の開発とともに、密かに自然の力にも期待しています。新型コロナウイルスは湿気や暑さに弱いというデータがあり、湿気も暑さも兼ね備えた「水無月」の今、この時期の自然の力でコロナを退治できないものかと期待しているのです。

## 行事予定

月	日	曜	5月～6月前半の主な行事
6	12	金	令和3年度以降教科用図書特別展示 ～25(木)
	15	月	人権週間～ 生徒集会
	22	月	全校朝会
	23	火	期末テスト 昼食後、下校
	24	水	
	25	木	
	26	金	授業参観・学級PTA
29	月	生徒集会 人権週間(～7/3)	
7	1	水	安全点検日・
	2	木	防災訓練
	6	月	全校朝会、学校集金・給食費納入期間(～10日)
	9	木	職場体験学習(2,3年)
	10	金	租税教室
	13	月	生徒集会

夏が近づき、水難事故も増えております。十分に気をつけるとともに、梅雨時期の登下校中や校舎内での過ごし方も気を付けましょう。

令和3年度以降使用中学校教科用図書の特別展示を下記の通り行います。どなたでも名簿に氏名を記入の上、閲覧いただけます。

期間 令和2年6月12日～25日

8:00～17:00

場所 鶴川内中学校 調理室(1F)

努力目標

生活のリズムを整え、起立ある生活に努めよう。

一事徹底

2分前着席・1分間黙想の徹底

# 生徒集会

生徒会主体のレクレーション！  
イメージネーションゲーム！



イメージネーションゲームとは、一人がお題を与えられ、それをペンと紙だけで伝えるゲームです。コミュニケーション力や傾聴力が高まります。

生徒会役員が企画・運営する生徒集会。「笑・和・輪～ONETEAM～」の目標達成のため、いろいろと考えてくれています。1～3年生混合のグループで活動を行いました。

これで伝わる??というものもだんだんと伝わりやすくなっていました。わかったときの笑顔は最高でした。次の生徒集会もとても楽しみです。また、ご家庭でも話題にしてみてください。家でやるのもいいですね！

# 朝のランニング

現在、30人の生徒が参加中！  
7:30より開始です！



全身持久力向上のため、朝のランニングがスタートしています。毎年行われる体力テストの全身持久力と柔軟性において学校平均が全国平均以上になることを目指しています。全校生徒で朝ランニング！どうでしょう？

# 巡回図書

巡回図書がありました！  
一人月5冊が目標です！



5月13日(水)に行われた巡回図書では、段ボールいっぱいの本を並べる手伝いを多くの生徒がしていて感心しました。その後、熱心に選んでいる様子がありました。図書選定委員会を経て購入されます！楽しみです！

★人生は選択の連続である 道徳や学級活動の実践より

日常の些細なことから志望高校の選択等まで、選択を迫られる場面が今までもこれからもたくさんある。人生は選択の連続だ。その時々で、よりよい判断をし、具体的に行動し、その結果について責任を取るということを積み重ねる。これこそ自立するには不可欠なものだ。

ある雑誌に、家族で食事に出かけた場面が紹介されていた。メニューを見ながら、何を注文しようか迷っている。決めきれないしていると、父親が「このお店はカレーがおいしいと聞いた」と父親はカレーに決めた。あれこれ迷って決められなかった他の家族も、それならとカレーを注文する。出来上がったカレーを食べ、「おいしくない」「注文しなければよかった」と勝手に言い出す。我慢して聞いていた父親が、ついに怒り出すというものであった。自分で決められなかった責任を棚にあげ、他人のせいにする。これとは逆もありうる。「このお店はカレーがおいしいからカレーにしなさい」と、過度に先回りして君が失敗しない道を親が教える。いつまでも保護されていけば、自立の芽を摘みとられてしまう。そんな積み重ねをしていると、将来大きな壁にぶつかったときに、対処できない自分の不甲斐なさに気づき、逃げ出したくなる日がくる。

君は、つまづいて転んで擦り傷をつくって、どうしたらこんな目にあわないかを考え成長する。失敗し、負けた経験から様々なことを学ぶ。だから賢者は、立ち直れなくなるような大けがをする前に手を差し伸べる。それぞれの発達段階に応じて君に考えさせ、判断させる。そんな場が中学校であり、家庭にある。そんな環境があることを幸せに思い、一步踏み出す勇気をもてるかどうか。何より甘えていないかどうか。一度立ち止まって考えたい。

四か月の赤ちゃんを対象にした実験がある。赤ちゃんにひもを握らせる。そのひもを引っ張れば心地よい音楽が流れてくることを教える。その後、ひもをはずす。そして、大人が適当な間隔でさっきの音楽を流す。すると、赤ちゃんは、悲しげな顔をして腹を立てたというのだ。音楽はさっきと同じ心地よいものなのに。つまり、四か月の赤ちゃんでさえ、「音楽を聴く、聴かない」を自分で決めたかったのだ。

君はもう中学生。これまでの選択の連続で今がある。ただ、自分で選んだのか、誰かに選ばされたのか、もともと選んであったのか…それはわからないけれども。しかし、卒業するまでに自ら選ぶことができる人に成長してほしい。どんな選択も自由だが、どうしていいかわからないから選ばない、選ばないから仕方ないとあきらめるのではなく、君の人生を歩む礎を築いてほしい。

